

薬剤師国家試験（2021年）

6年ストレート国試合格率が公表される

2021年6月厚労省検討会は、
「一部の私立大学では、見かけ上の合格率を維持するため、受験者の絞り込みを行っている実態があることから、進級率や6年修業年限内での合格率（ストレート合格率）を示すように」と求めた。

このような状況で、薬事日報記事（2022年1月31日）に、薬学部調査結果が発表された。

奥羽大学薬学部（2015年入学者）の6年ストレート進級率は80%、6年ストレート国試合格率は47.7%であり、新設薬科大学29校中17位であり（全国平均58.2%）、東北地区では第2位であった。

<東北地区>

6年ストレート国試合格率

①A大学 58.5% ②奥羽大学薬学部 47.7%

③B大学 40.3% ④C大学 28.1%

⑤D大学 25.0%

退学率（低い順）

①A大学 11.2% ②奥羽大学薬学部 13.9%

③B大学 28.9% ④D大学 28.3%

⑤C大学 56.2%

2022年2月4日 奥羽大学薬学部長 衛藤雅昭